

2018. 6. 6.

ワールドロボットサミット2018 (WRS) ジュニアカテゴリー〈スクールロボットチャレンジ〉出場企画書

新見市立新見第一中学校

1 主催

経済産業省／新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)

2 目的

いつの間にか、パソコンやスマホが私たちの生活の中で欠かせない存在になっていったように、現在私たちは人間とロボットが共存する世界が始まるちょうど入口にいます。それは私たちに準備ができていようといまいと、確実に起きているのです。

この大会は、世界中の子どもたちが、学校や家にロボットが存在する毎日を想像し、そんなロボットと協力しながら一緒に生活する暮らしを作るというユニークな機会を作り出すことを目的としています。(WRS 公式サイトより)

3 ジュニアカテゴリー規則

- (1) 19歳以下で、2人～6人でチームを編成します。
- (2) ロボットを学校で使用するための創造的なアイデアの開発とその実現を目指します。
- (3) 世界各地のチームとその指導者に会い、情報交換や相互の技術力向上を目指した学習体験の場が提供されます。
- (4) 競技内容・得点配分については次の通りです。

① スキルチャレンジ (4種類の制御能力のテスト)	30%
② オープンデモンストレーション (5分間の開発プログラム実演)	50%
③ テクニカルインタビュー (競技中に15分間のインタビュー)	20%

4 事前ワークショップについて

- (1) 期間 10月13日(土)～16日(火)
- (2) 場所 東京ビッグサイト周辺
- (3) 内容
 - ① 参加チームそれぞれに Pepper が提供され、チームが事前に準備したプログラムを試したり、新しいプログラミング技術を学んだり、WRS 競技委員に質問をしたりします。
 - ② ワークショップの始めにスキルチャレンジの内容が発表され、その準備をします。
 - ③ 他のチームとの交流を図ります。
- (4) 一般(保護者)の見学はできません。

5 WRS 競技会・展示会について

- (1) 期間 10月17日(水)～21日(日)
- (2) 場所 東京ビッグサイト 東6/7/8ホール
- (3) 入場無料で一般公開されます。競技観戦も可能です。(保護者の来場歓迎)
- (4) タイムスケジュール等の詳細は後日公式サイトで発表されます。

6 宿泊・交通について

- (1) 大会本部より JTB を通して、会場近くのホテルを確保しています。
(有明ワシントンホテル・ホテルサンルート有明・品川プリンスホテル等)
- (2) 参加チーム限定での予約受け付けを7月上旬より開始します。
- (3) 大会全期間(10月13日～21日)宿泊します ※前泊・後泊も必要となります。
- (4) 交通手段は、JR(特急と新幹線)を予定しています。

7 チームサポートについて

- (1) 国際ロボット大会連盟有限責任事業組合より、本校チームに支援があります。
支援金額 350,000円(上限)
(内訳) 渡航費 100,000円
滞在費 250,000円
- (2) 支払い金受領には所定の手続きが必要で、支払い時期は原則大会終了後となります。

8 出場チームについて ※国内外より18チーム出場

- 本校チーム名 「SMILE」
- リーダー 妹藤 明音(中学3年) ○メンバー 森 茉奈美(中学3年)
- メンター 藤井 幸治(新見第一中学校 主幹教諭)

(申込順)

スクールロボットチャレンジ (18チーム)	
Merrimac State High School STEAM Academy	robotOnfire
Vanilla	KUROBO
Bakunawa	GADGETS
SMILE	Yamamon Japan
Metis+	DSTY
Onomichi Industrial Research Club	SKOOL-BUS
Tamagawa Robotics Club	I want to eat RAMEN!
STHLM DO	Team a (Alpha)
CHILE	LATTEL

**Junior
Category**
ジュニアカテゴリー

